

富士見町の家計簿

平成22年度各会計決算から見る町の財政

一般会計の決算

一般会計の歳入・歳出

〔歳入総額〕77億4,028万円(前年度対比95.6%)
 〔歳出総額〕73億6,845万円(前年度対比94.0%)
 〔実質収支額〕3億2,437万円(前年度対比131.4%)
 ※実質収支額とは歳入歳出差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を控除したものである。

歳入の特徴

平成22年度の歳入決算額は77億4,028万円、平成21年度に比べて3億5,238万円の減となりました。

〔前年に比べての主な増減内容〕

・町税：23億8,581万円

(前年度比△1億1,763万円)

財源の31%を占める町税の主なものは、住民税、固定資産税、市町村たばこ税ですが、いずれも減収となりました。

・地方交付税：20億7,914万円

(前年度比+1億5,402万円)

地方でも一定の行政サービスが維持できるよう国から交付されるもので、計算に用いる税収の減少や算定方式の変更により増額となりました。

・国県支出金：12億3,604万円

(前年度比+3億9,645万円)

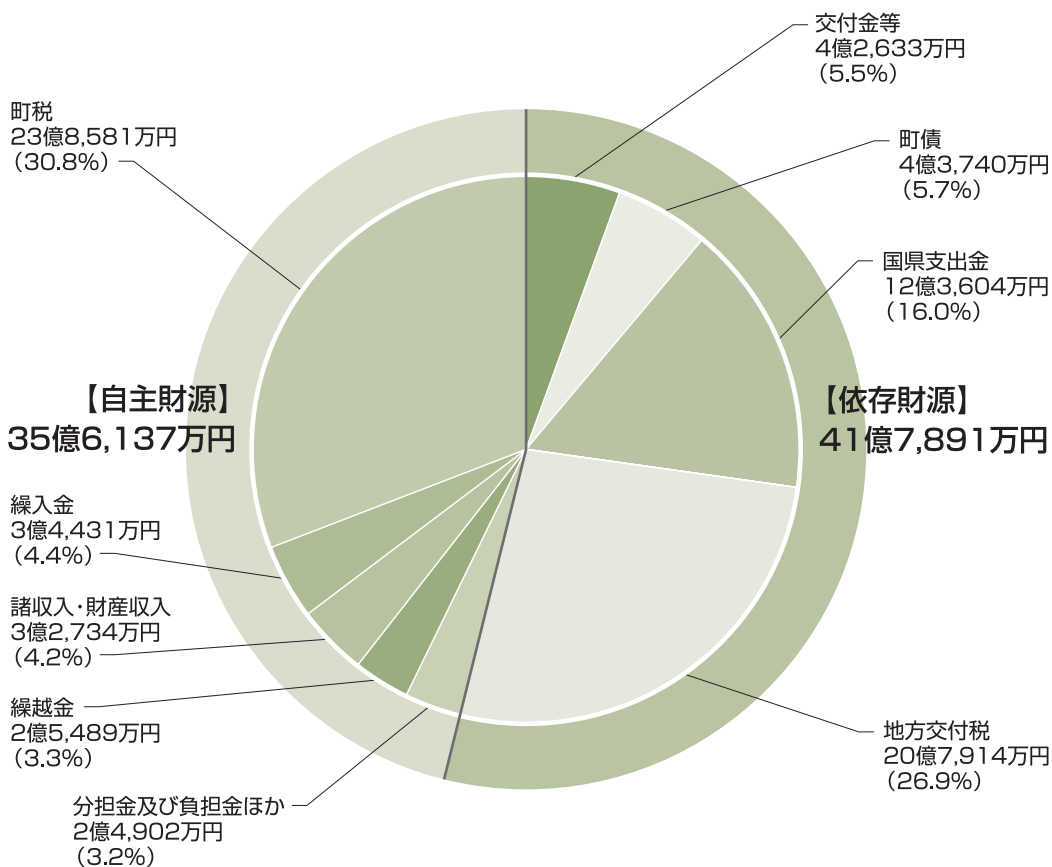
子ども手当の創設や地域総合福祉センター清泉荘建設のための財源により増額となりました。

・繰入金：3億4,431万円

(前年度比△8億2,818万円)

基金を取り崩して歳入とするもので、平成21年度に実施したパノラマスキー場支援のための貸付金の財源として基金を取り崩したことから、平成22年度は大幅な減額となりました。

【歳入】 77億4,028万円



財源	項目	科目説明	住民一人あたり
依存	町債	事業を実施する場合に借り入れる資金	2.9万円
	交付金等	国税の一部が交付されるもの	2.8万円
	国県支出金	社会福祉、農業施策、道水路建設に伴う補助金など	8.1万円
	地方交付税	町の財政規模に応じ不足する経費を国から交付されるもの	13.5万円
自主	分担金及び負担金ほか	建設事業の地元負担金、施設使用料、寄附金など	1.6万円
	繰越金	前年度の繰越金	1.7万円
	諸収入・財産収入	国等の受託事業、預託金返還金、預金利子など	2.1万円
	繰入金	基金など積立金の取り崩しによるもの	2.2万円
	町税	町民税、固定資産税など	15.6万円
計			50.5万円

平成22年度の町の決算が、9月の町議会承認されました。今月は、昨年度の富士見町一般会計、国民健康保険など8つの特別会計と水道事業など2つの公営会計の決算状況をお知らせします。

財務課 財務係 ☎62-9126

歳出の特徴

平成22年度の歳出総額は73億6,845万円で、平成21年度に比べて4億6,932万円の減となりました。
 なお、使われたお金の「性質」(物品の購入なのか、職員の人件費なのか)に区分したのが「性質別歳出」、「目的」(福祉のためなのか、教育のためなのか)に区分したのが「目的別歳出」です。

【前年に比べての主な増減内容(性質別)】

- ・扶助費…5億2,120万円
 (前年度比+11億6,519万円)
- ・子ども手当支給、各種ワクチン接種助成事業により増額となりました。
- ・投資・貸付金…2億4,000万円
 (前年度比+9億5,000万円)

- ・平成21年度に実施したパノラマスキー場支援のための貸付金により、平成22年度は大幅な減額となりました。
- ・積立金…5億8,841万円
 (前年度比+5億3,642万円)

- ・清泉荘建設のための財源を一時的に基金に積立てたことや、その他の積立てを行ったことにより増額となりました。
- ・補助費等…16億7,532万円
 (前年度比+2億9,996万円)

パノラマスキー場強化補助金を新しく計上しましたが、平成21年度に実施した定額給付金事業、土地開発公社支援事業により減額となりました。

その他

長引く経済不況を受け、税収の落ち込む中、事業の見直しを行いながらも実質的な住民サービスを低下させないことを基本とし、パノラマスキー場をはじめとする観光事業強化や、長年の懸案事項であった渡辺別荘跡地を取得しました。
 また、今後基金に頼らざるを得ない状況も予想されることから、財政調整基金等への積立てを行いました。

()内は平成21年度の数値

経常収支比率

79.9% (82.0%)

町税、交付税など、経常的に収入される一般財源のうち、人件費、扶助費、公債費など、経常的に支出する経費の割合。
 ※この指数が低いほど、町が独自に使えるお金が多いことになり、90%を超えると財政の硬直化が進んでいると考えられます。

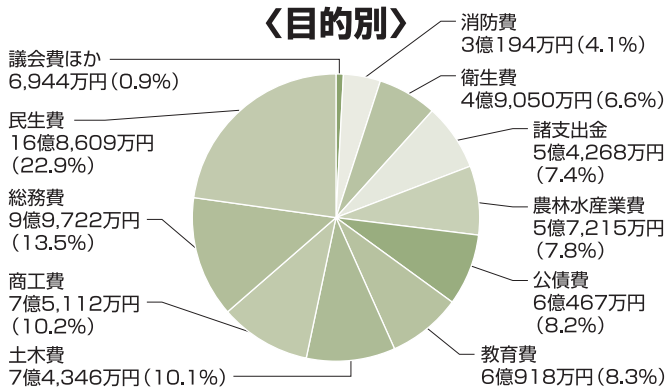
財政力指数

0.572 (0.596)

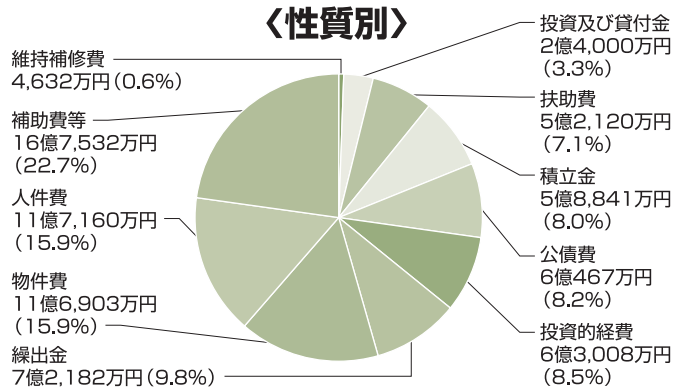
町が標準的な水準で行政を行った場合に必要な経費に対する、税金などの収入の割合。
 ※必要経費に対する町税等の収入割合で町の財政力を示します。この指数が高いほど財源に余裕があると言えます。

【歳 出】 73億6,845万円

＜目的別＞



＜性質別＞



項目	科目説明	住民一人あたり
議会費ほか	議会活動	0.5万円
消防費	消防活動や救急、防災など	2.0万円
衛生費	健康づくりや疾病予防、ごみ処理	3.2万円
諸支出金	町の基金へ積立てる	3.5万円
農林水産業費	農業の振興や農道、水路の整備	3.7万円
公債費	町の借入金返済	3.9万円
教育費	学校教育や社会教育の充実	4.0万円
土木費	道路、河川や都市計画整備	4.9万円
商工費	商工業の振興や観光宣伝、観光施設の整備	4.9万円
総務費	一般事務経費(他の費目に当てはまらないもの)	6.5万円
民生費	児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉	11.0万円
計		48.1万円

項目	科目説明	住民一人あたり
維持補修費	公共施設の補修等の経費	0.3万円
投資及び貸付金	貸付金や商工業支援の預託金など	1.6万円
扶助費	老人・児童・障害者福祉等のため支給する経費	3.4万円
積立金	基金への積立金	3.8万円
公債費	町借入金の返済金	3.9万円
投資的経費	道水路工事や学校建設などの経費	4.1万円
繰出金	特別会計などへの繰出金	4.7万円
物件費	臨時職員の賃金、光熱水費、委託料など	7.7万円
人件費	議員報酬、職員給与など	7.7万円
補助費等	補助金や広域連合等への負担金など	10.9万円
計		48.1万円

特別会計の決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	14億2,783万円	13億2,622万円
老人保健	8万円	8万円
有線放送電話	1億3,342万円	1億2,307万円
観光施設貸付事業	2億8,365万円	2億8,352万円
後期高齢者医療	1億4,516万円	1億4,279万円
富士見財産区	2,405万円	2,294万円
本郷・落合・境財産区	3億6,428万円	3億6,326万円
乙事財産区	821万円	735万円

公営企業会計の決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額
水道	収益的収支	6億3,807万円
	資本的収支	4,421万円
下水道	収益的収支	11億7,487万円
	資本的収支	4,779万円